

学校評価アンケート集計結果と比較・考察

○アンケート回収総計 663通

全家庭数 759

回答率 87.4%

○平均3.5以上を斜線、3.0未満を網掛

問1 学年・学級目標を意識して学校生活を送ることができている。

児童平均

教師は教育方針をもとに学年・学級目標を定めながら、発達段階に応じた具体的な指導を行っている。学校の教育方針が児童や保護者にも浸透していくように通信を通して学校生活を発信したり、学年間・学級間でぶれない実践をしつらながら、共感できる教育活動を進めていきたい。

3.2

校長の経営方針を理解し、学年・学級経営に生かそうと努めた。

3.4

←教師平均

学校の教育方針に共感でき、教育活動全般に満足している。

3.2

←保護者平均

問2 学習中は、先生や友達の話をよく聞き、自分の考えを積極的に発表することができる。

児童平均

小中一貫型教育という特色を生かし校内研修等を通して6年間を貫く「対話」に力を入れている。積極的に「対話」する活動を取り入れているが、子どもたちには自分の考えを積極的に伝えることを苦手としているようである。今後も発達段階に応じた「対話」活動に取り組み、自信をもって発言できる子どもたちにしていきたい。

3.0

学力の向上、小中連携に向けて積極的に取り組んだ。

3.2

←教師平均

学校は、特色ある教育活動(学力の向上・小中連携・開かれた学校)を行っている。

3.2

←保護者平均

問3 いじめを「しない」「させない」ように努力している。

児童平均

学校や学級での取組が十分ではないということが保護者の評価からうかがえる。子どもたちが家庭に帰った時に「楽しかった」と言えるよう良好な人間関係をきずくができる環境づくりに努めていきたい。また、子どもたちの心の状況把握に努め、保護者とも連絡を密にしていきたい。

3.3

いじめのない学年・学級作り取り組んだ。

3.6

←教師平均

学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。

3.0

←保護者平均

問4 休み時間は、次の学習の準備をすませ、チャイムが鳴ったら席についている。

児童平均

時計を見ながら早め早めの行動ができるようになってきている。教師も授業の始まりと終わりの時刻を守るように心がけている。これからチャイムをはじめ、生活指導上の重点を共通理解・実践を行っていく。

3.3

校内外問わず、児童の生活面の指導をきちんと行っている。

3.3

←教師平均

学校は、校内外問わず生活面の指導をきちんと行っている。

3.1

←保護者平均

問4 靴棚の靴をそろえたり、トイレのスリッパを並べたりすることができる。

児童平均

次に使う人のことを考えたトイレのスリッパ並べを身に付けさせるために、全校で「手でかかと・向きをそろえる」を実践している。また、上手にそろえている子やそろえなかった子に適宜言葉かけを行うことで改善されている。

3.5

校内外問わず、児童の生活面の指導をきちんと行っている。

3.3

←教師平均

学校は、校内外問わず生活面の指導をきちんと行っている。

3.1

←保護者平均

問4 忘れ物(学習用具・はてなば など)をしないように気をつけて生活している。

児童平均

委員会の取組で、「はてなば」調べの結果を校内放送で紹介している。その成果もあり、意識が高まっているようである。改善が必要な児童については家庭と連携をとって粘り強く支援していく。

3.4

校内外問わず、児童の生活面の指導をきちんと行っている。

3.3

←教師平均

学校は、校内外問わず生活面の指導をきちんと行っている。

3.1

←保護者平均

問5 家庭学習(宿題・自主学習)に毎日取り組むことができる。

児童平均

各家庭の協力もあり、家庭学習の習慣が身に付いてきている。今後も基礎学力の向上の一助となるように学年の発達段階に応じて学習量の調整や内容の精選に努めるとともに、よい取組や頑張りを称賛し、感化していく。

3.4

学習内容の定着を図るための課題(宿題・自主学習)を出した。

3.5

←教師平均

学校は、学習内容の定着を図るための課題(宿題・自主学習)を出している。

3.4

←保護者平均

問6 先生は、勉強をわかりやすく教えてくれる。

児童平均

日々の授業は子どもたちにとって満足できるものになっているようである。今後も教材研究に努めたり、必要に応じて個別指導を行ったりして「わかった、できた」をたくさん味わうことができる授業づくりに努めていく。

3.7

児童理解に努め、個に応じたわかりやすい授業づくりに努めた。

3.2

←教師平均

教職員は、子どもをよく理解し、個に応じたわかりやすい授業を行っている。

3.2

←保護者平均

問7 先生は、がんばったことや善い行いをほめてくれる。

児童平均

学校生活の様々な場面で子どもたちの良さを見逃さずに誉めていこうという取組が成果を上げている。子どもたちの頑張りをもっと保護者に伝えるように通信や連絡帳を通した発信や紹介、授業公開を行ってきたい。

3.6

一人ひとりの子どもの能力や特性に応じた対応をし、伸ばそうと努力した。

3.2

←教師平均

教職員は、努力を認め、子どもの能力に応じた対応をし、伸ばそうと努力している。

3.2

←保護者平均

問8 先生は、困ったときなどに話を聞いてくれる。悪い言葉遣いや行動を指導してくれる。

児童平均

児童の表情や行動の変化を敏感に感じ取り、早期発見に努めた。また、トラブルがあった場合には双方の話をじっくり聞き、早期解決できるようにした。今後もいつでも気軽に相談できる信頼関係を築いていく。

3.7

子どもの悩みや相談ごとに親身になって応じた。

3.4

←教師平均

教職員は、子どもの悩みや相談ごとに親身になって応じている。

3.1

←保護者平均

問9

児童平均

教師は子どもたちに気になることがあれば、迅速に連絡を行い早期対応に努めている。今後も家庭との連携を密に取り、信頼関係を築いていく。

家庭への連絡や報告をきめ細やかに行った。

3.1

←教師平均

教職員は、家庭への連絡や報告をきめ細やかに行っている。

3.2

←保護者平均

問10	毎日楽しく登校している。	子どもたちは、好ましい友達関係があり、楽しく登校している。	子どもたちは、好ましい友達関係があり、楽しく登校している。
3.3	児童平均 学級内でのトラブルについてはその日に解決し、次の日まで引きずらないようにすることで、すっきりとした気持ちで登校できているのではないかと考える。今後も支持的風土のある学級づくりに努めながら、自己肯定感を高める取組を積み重ねていきたい。	3.1 ←教師平均	3.4 ←保護者平均
問11	だれに対しても、気持ちのよいあいさつや言葉遣いをしている。	子どもたちは、誰にでも気持ちのよいあいさつや言葉遣いができている。	子どもたちは、誰にでも気持ちのよいあいさつや言葉遣いができている。
3.2	児童平均 気持ちのよいあいさつができるようになることを重点目標として取り組んできたが、学校外の家庭や地域の中では十分な成果は現れていない。生活指導主任を中心に各教師が全体や学級での指導を続けている。教師や保護者が求めている子どもたちのあいさつ像と子どもたちの自己評価には差があるので、今後もレベル表など具体的な目標を掲げながら、気持ちのよいあいさつのできる子どもたちへと導いていく。	2.5 ←教師平均	2.8 ←保護者平均
問12	歯磨きや手洗い、うがいなどがしっかりできている。	子どもたちは、健康に気がけている。(歯磨き・手洗い・うがい など)	子どもたちは、健康面に気がけている。(歯磨き・手洗い・うがいなど)
3.4	児童平均 健康的な生活習慣を確立するために「給食後の歯磨き」「あいづ体操」「手洗い・うがい」などに取り組んでいる。今後は主体的に自分の健康管理に努められるように家庭に啓発し、さらに定着を図ってきたい。	2.8 ←教師平均	3.1 ←保護者平均
問13	地域の行事に積極的に参加している。	子どもたちは、PTAや地域主催の行事等に進んで参加している。	子どもたちは、PTAや地域主催の行事等に進んで参加している。
2.9	児童平均 地域からのお便りなどを通して各行事を紹介しているが、用事や習い事、社会体育などと重なり参加できない児童が多いようである。子ども同士、大人や地域とつながることの大切さについて機会あるごとに啓発していきたい。	2.7 ←教師平均	2.8 ←保護者平均
問14	清掃や当番の仕事をがんばっている。	学校は清掃が行き届き、学習をするのにふさわしい環境になっている。	学校は清掃が行き届き、学習をするのにふさわしい環境になっている。
3.6	児童平均 子どもたちの評価は高く、満足した活動をしているようである。しかし、教師の子どもたちに求める願いは高く、そこに評価の差が出ていると考える。特に清掃については「無言清掃」ができていない状況である。掃除に取り組む時間や掃除場所に対する人数は適切に検証したり、掃除時間の始めと終わりにめあてを立て反省をするなど目標をもたせて取り組ませたりして無言清掃の定着を図りたい。	2.9 ←教師平均	3.2 ←保護者平均
問15	安全に気をつけて学校生活を送っている。(道具の安全な使い方・正しい廊下歩行など)	学校は、校内の危険箇所への配慮があり、安全に生活を送ることができる環境を整えている。	学校は、校内の危険箇所への配慮があり、安全に生活を送ることができる環境を整えている。
3.4	児童平均 毎月1回の教師による安全点検を行い、子どもたちの事故防止に努めている。また落ち着いた生活を送れるように教室移動は「並んで、静かに」を合言葉に廊下歩行に取り組んでいる。まだ意識が不十分な児童がいるので、引き続き指導を継続していく。	3.1 ←教師平均	3.2 ←保護者平均
問16	友達の間で嫌がることを言ったりしりせず、だれとでも仲良くしている。	学校では、命や人権を大切にする教育に積極的に取り組んでいる。	学校では、命や人権を大切にする教育に積極的に取り組んでいる。
3.3	児童平均 「いのちを見つめる強調月間」や人権週間を通して、何よりも「命を大切にする」ということを教師、児童がしっかりと考える機会をつくっている。今後も命や人権を大切にする教育を継続していく。	3.4 ←教師平均	3.3 ←保護者平均
問17		学校は、ホームページや学校だより、学年だより等で学校の様子をわかりやすく伝えている。	学校は、ホームページや学校だより、学年だより等で学校の様子をわかりやすく伝えている。
児童平均	毎月の行事予定だけでなく、各学年の取組を紹介するなど学校の教育活動を発信していく場として、最新の情報を載せていく心がけていく。	3.1 ←教師平均	3.2 ←保護者平均
問18		学校は、学校行事等で、保護者や地域の人たちが、来校する機会を多く設けている。	学校は、学校行事等で、保護者や地域の人たちが、来校する機会を多く設けている。
児童平均	授業参観には毎回多くの保護者の方々に参観していただいており、学校の教育活動に対する関心の高さがうかがえる。今後も「開かれた学校」を目指し、様々な場面で学校を公開していく。	3.4 ←教師平均	3.3 ←保護者平均
問19		学校は、地域の行事をよく理解し、協力している。	学校は、地域の行事を理解し、協力的である。
児童平均	学校に届いた案内文書は、児童に紹介や配付を確実にしている。学校側も「地域とともにある学校」として地域の行事に参加、協力をしていく。	3.3 ←教師平均	3.3 ←保護者平均
問20		学校は、地域と連携をとり、校区内の安全や交通事故防止に配慮している。	学校は、地域と連携をとり、校区内の安全や交通事故防止に配慮している。
児童平均	見守り隊や交通当番の方々と連携しながら、登下校時の見守り、引率を精力的に行ってきた。また、地区別児童会や集団下校時には交通安全・事故防止について指導を行っている。下校が集中するときは歩道いっぱいまで広がって歩いたり、走ったりしていることが見受けられるので、安全な歩き方については今後も指導を続ける。	3.4 ←教師平均	3.3 ←保護者平均
問21		学校は、様々な機会を通して、小中連携の取組への理解を促している。	学校は、様々な機会を通して、小中連携の取組への理解を促している。
児童平均	小中連携だよりを発行したり保護者・地域向けの説明会を開いたりして、理解と協力を求めてきた。今年度は5年生児童対象に6年生児童が中学校校舎での生活について紹介する機会を設け、スムーズな移行につなげるようにした。今後も説明会や連携だより、学校ホームページ等様々な機会を通じて、小中連携の進捗状況について発信していく。	3.3 ←教師平均	3.3 ←保護者平均